

■ひよし防災フェスタ 2023

防災連合主催(共催:連協、区長会第一部会、後援:富里市)の防災フェスタが1月21日(土)に北部コミセンで開催され、約150名の人々が参加しました。「大地震に『見て・体験して・備える』」をテーマとして行われ、各自治会で管理している防災備品や紹介パネル、ならびに家庭で準備しておきたい防災グッズが展示されました。地震体験車も登場し、震度7に挑戦した人の感想は「とても立ってられない」でした。公助が始まるまでにはある程度の時間がかかるので、家庭での自助および地域での共助が重要です。トルコ地震はまだ記憶に新しいところです。地震はいつ発生するかわかりません。日ごろから万が一に備えておきましょう。



参加登録



1995.1.17 阪神大震災記録映像視聴会



地震体験車



初期消火実体験



AED 救命体験



展示コーナー



非常時持出し袋の一例(イメージ)



■日吉台防犯ガイドブック

防犯連合と区長会第一部会は、地域住民が犯罪被害に遭わないようにすることを目的として、「日吉台防犯ガイドブック」を作成し、地域の全世帯に配付しました。防犯のためのポイントが分かりやすくまとめられています。富里市の犯罪認知件数は、2021・2022年は30-40件/年でしたが、コロナ禍が収まってきた今年は3か月で既に30件を超えています。防犯は各人が防犯意識を持って対応することが必要です。ガイドブックを参考に防犯対策を確認しましょう。



■青パト講習会

防犯連合では1月28日(土)に、成田警察署生活安全課から講師を招いて青パト講習会を実施、23名の方が受講しました。2022年度から青パト車を使用して地域のパトロールを実施しています。青パト車によるパトロールには最低一人は青パト講習会の修了者が同乗する必要があり、これまでは修了者が少なく、パトロール計画を立てるのに苦労していました。今回の講習会開催で各自治会に最低一人の受講者が所属することになり、自治会単位でのパトロールが可能になりました。



■環境役員懇談会開催

連協／生活環境部主催で環境役員懇談会が1月14日(土)に開催されました。各自治会から環境衛生の担当役員が参加し、粗大ごみや不燃ごみの回収問題、公園の清掃管理についての実態や活動をお互いに紹介するとともに、困っていることの見聞交換を行いました。これらは各自治会の共通課題で、参加者からは非常に参考になったとのコメントがありました。今後も開催してほしいとの要望も寄せられています。



■ひよし夏祭り 2023 開催決定！

コロナ禍で2019年から中止となっていたひよし夏祭りが7月29日(土)に開催されます。詳細は4月に立ち上がる夏祭り実行委員会で決定されます。なお、高齢化等でスタッフの確保が難しく、夏祭りの運営が厳しくなっています。別の回覧で新しいサポーターを募集していますので、多くの方からのご応募をお待ちしています。

■お知らせ

連協ニュースを富里市のホームページで閲覧できます。「富里市 地域づくり協議会を支援」で検索して該当ページを表示し、画面を下にスライドさせると連協関係の情報欄が現れます。

■編集後記

右は、北部コミセンの満開の桜の花と、日吉台小学校正門脇の植え込みで見つけた”つくし”です(3月24日撮影)。まさに、春が来た！です。

以上

